

宇部市公共施設マネジメント（小中学校）  
アンケート調査結果

宇部市教育委員会事務局施設課  
令和2年11月

## 調査の概要

### 1. 目的

宇部市教育委員会では、国のインフラ長寿命化基本計画に基づき、宇部市が策定した「宇部市公共施設等総合管理計画」の中で、令和2年度末を目標に小中学校における個別施設計画の策定を進めています。

この計画では、人口減少の進行や厳しい財政状況をふまえ、施設の長寿命化、施設総量（総延床面積）の縮減及び効率的・効果的な管理運営等について、将来を見据えたマネジメントに取り組んでいます。

今回アンケートを実施することにより、公共施設マネジメントの進め方や小中学校施設の今後の方向性について、学校施設利用者及び地域住民の皆様の考えや意見を伺い、学校施設長寿命化計画の策定に活用することを目的としています。

### 2. 対象者及び実施方法

#### (1) 対象者

小中学校PTA役員及び学校運営協議会委員

#### (2) 実施方法

アンケート用紙の配布及び回収

#### (3) 配布者数及び回答者数

配布者数	2,083
回答者数	1,753
回答率	84.2%

#### (4) 内容

宇部市公共施設マネジメントに関するアンケート調査（宇部市の公共施設及び小中学校施設について）

#### (5) 期間

令和2年10月12日～令和2年10月23日

## 調査結果

次のページより、実施したアンケートの内容と各設問に対する回答の集計結果を掲載します。



# 宇部市公共施設マネジメントに関するアンケート調査 (施設名 小中学校)



学校施設利用者の皆さんへ

平素より市政の推進について、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

本市では、国のインフラ長寿命化基本計画に基づき、公共施設の今後の方向性等について定めた「宇部市公共施設等個別施設計画（仮称）」の策定を進めています。

このアンケート調査は、公共施設のマネジメントの進め方や小中学校施設の今後の方向性について、利用者の皆さんのお考えやご意見を伺うために実施するものです。

下記の資料をご覧になって、アンケートにお答えください

## 【資料1】宇部市の公共施設等の現状と課題

※「宇部市公共施設等総合管理計画」（H28.3策定）から抜粋

### ■公共施設の課題

- ・老朽化が進んでおり、今後一斉に更新時期を迎える。
- ・45%が旧耐震基準時の建設。全体で約21%が耐震改修未実施となっている。
- ・今後30年間の施設更新費用の年平均必要額は67億円となっている。

### ■人口の課題

- ・2045年の推計人口は120,429人であり約28%の人口減少が予想される。
- ・既に24小学校区のうち、20校区で人口が減少している。

### ■財政の課題

- ・施設の年間更新必要額67億円に対し、38.7億円が不足すると想定される。
- ・将来の財政見通しは厳しく、年間の施設整備費28.3億円を維持できない可能性がある。

## 【資料2】公共施設マネジメントの取組

※「宇部市公共施設等総合管理計画」（H28.3策定）から抜粋

本市の公共施設、人口、財政の課題を踏まえ、次の公共施設マネジメント4原則に取り組みます。

### ■公共施設マネジメント4原則

1 量を減らす	人口減少の進行や厳しい財政状況を踏まえ、必要なサービスを提供できる施設の量を確保した上で、総量（総延床面積）の縮減に努めます。
2 大切に使う	定期的な点検・診断と計画的な予防保全により施設の長寿命化を図り、長期にわたる安心・安全なサービスの提供に努めるとともに、財政負担の軽減と平準化を図ります。
3 かしこく活かす	市民や民間事業者との協働による効率的・効果的な管理運営と遊休資産の有効活用などにより、無駄のない施設利用を目指します。
4 将来に備える	利用者ニーズの多様化や環境問題、施設整備費の増大など様々な課題に対応するため、将来を見据えたマネジメントを実施します。

### 【資料3】宇部市立小中学校の今後の方向性

#### 今後の方向性の検討方法

今後の宇部市の小中学校施設の方向性は、ソフト面（利用状況、経費効率）と、ハード面（建物性能）により、下記の6つに分類して検討をしていきます。

区分	主な対策
現状維持	・小規模な修繕等を行いながら現状の機能を維持
長寿命化	・大規模な改修や設備の更新等を実施し、施設を長寿命化
更新	・適正規模に見直ししたうえで老朽施設を建替え
統合	・施設設備の複数校での利用（例：プール等） ・学校の適正配置等の観点から、近隣小中学校を統合
複合化	・学校施設と他の施設を複合化 （例：ふれあいセンター、学童保育施設、スポーツ施設等）
機能移転	・学校施設の一部を他施設に移転（例：民間プール利用等）

本市は小学校24校、中学校12校の計36校を保有しており、令和2年6月末時点で耐震化率97.4%、普通教室と図書室の空調設備の設置が完了しています。今後は残りの体育館耐震化、校舎玄関等バリアフリー化を完了させていく予定です。

本市の学校施設は築後30年以上経過したものが半数以上を占めており、多くの施設において老朽化が進んでいます。今後10～20年の間に、一斉に更新時期を迎え、改修や維持管理等に多額の費用を要することが想定されます。一方で、人口減少等により、厳しい財政状況になることが想定されるため、財政負担の平準化及び軽減が求められます。そのため、計画的・効率的な施設整備と施設管理をすることで、学校施設の長寿命化を図り、持続可能な学校施設を目指すこととしています。

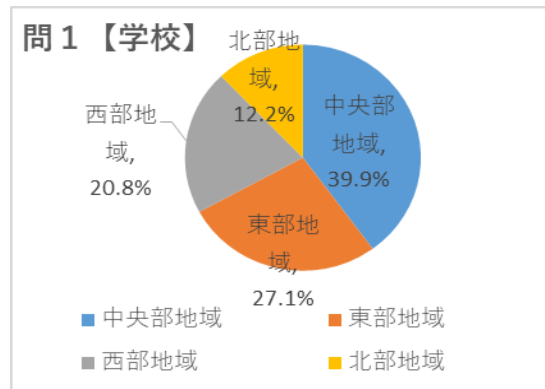
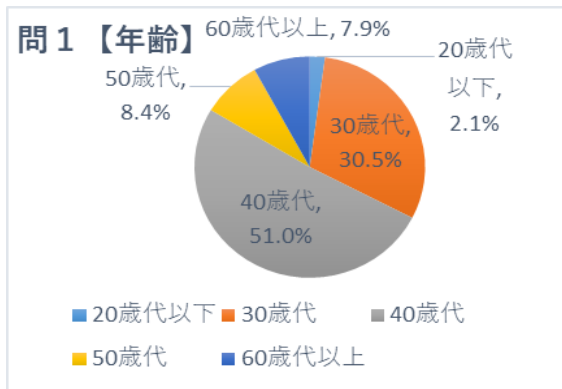
# アンケート調査票

各問で、当てはまるものの番号に○を付けてください。

問1 あなたの年齢及び現在関わりの深い学校（複数回答可）をお答えください。

【年齢】	1	10歳代	2	20歳代	3	30歳代	4	40歳代
	5	50歳代	6	60歳代	7	70歳以上		

【学校】	1	東岐波小	2	西岐波小	3	恩田小	4	上宇部小	5	岬小	6	見初小
	7	琴芝小	8	神原小	9	新川小	10	鶉ノ島小	11	藤山小	12	厚南小
	13	原小	14	厚東小	15	二俣瀬小	16	小野小	17	常盤小	18	小羽山小
	19	西宇部小	20	川上小	21	黒石小	22	吉部小	23	万倉小	24	船木小
	101	東岐波中	102	西岐波中	103	常盤中	104	上宇部中	105	神原中	106	桃山中
	107	藤山中	108	厚南中	109	厚東川中	110	川上中	111	黒石中	112	楠中



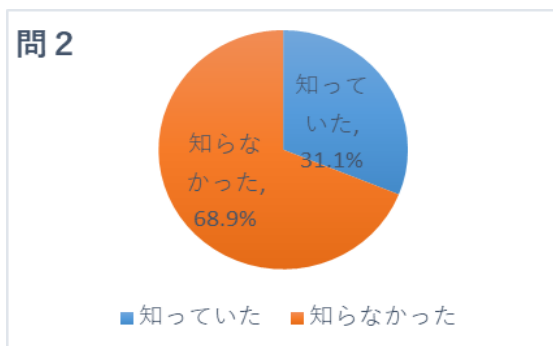
※【学校】については、以下の分類で集計しています。

- 中央部地域：（小学校）恩田、上宇部、岬、見初、琴芝、神原、新川、鶉ノ島、藤山、常盤、小羽山、（中学校）常盤、上宇部、神原、桃山、藤山
- 東部地域：（小学校）東岐波、西岐波、川上、（中学校）東岐波、西岐波、川上
- 西部地域：（小学校）厚南、原、西宇部、黒石（中学校）厚南、黒石
- 北部地域：（小学校）厚東、二俣瀬、小野、吉部、万倉、船木、（中学校）厚東川、楠

※問2～問6の質問は、施設の維持管理経費の大部分が税金でまかなわれていることを踏まえ、施設利用者としてではなく1人の納税者としての立場からお答えください。

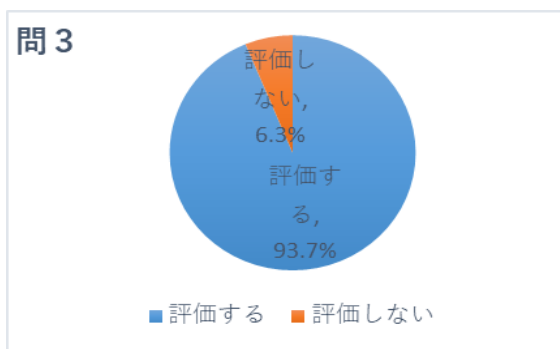
問2 【資料1】「宇部市の公共施設等の現状と課題」について、お尋ねします。あなたは、このような公共施設を取り巻く状況をご存じでしたか。

1	知っていた	2	知らなかった
---	-------	---	--------



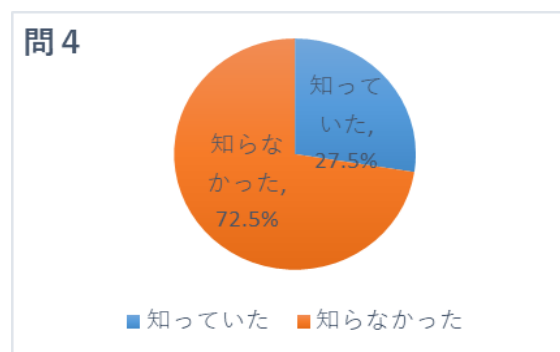
問3 【資料2】「公共施設マネジメントの取組」について、お尋ねします。  
あなたは、この取組を評価しますか。

1	評価する	2	評価しない
---	------	---	-------



問4 【資料1】「宇部市の公共施設等の現状と課題」、【資料2】「公共施設マネジメントの取組」について、お尋ねします。  
あなたは、小中学校もこれらの現状、課題を抱えており、公共施設マネジメントの取組の対象となっていることをご存じでしたか。

1	知っていた	2	知らなかった
---	-------	---	--------



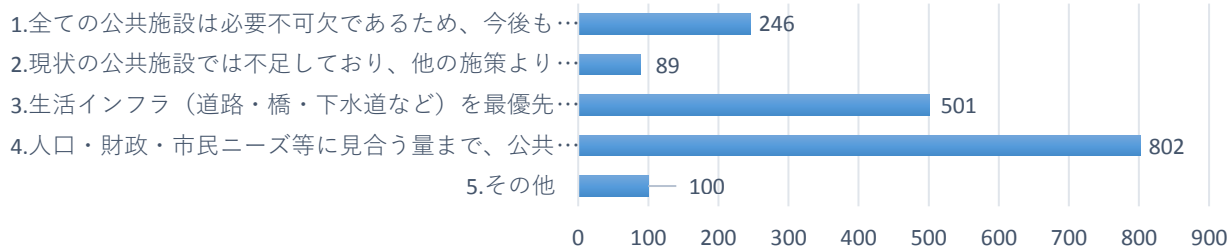
【問2～問4】

- ・「宇部市の公共施設等の現状と課題」については約7割弱が知らなかったと回答。小中学校についても公共施設マネジメントの対象になっていることについては7割以上が知らなかったと回答。今後の取組みについても、皆さんへの十分な周知が必要であると考えられます。
- ・「公共施設マネジメントの取組」については9割以上が評価していて、公共施設に対する今後の取組みに皆さんの関心が高いことが伺えました。

問5 今後、少子高齢化や人口減少がますます進み、市の保有する公共施設を全て維持・更新することは財政的に困難となる可能性があります。公共施設のあり方として、あなたの考え方に最も近いものは次のうちどれですか。

1	全ての公共施設は必要不可欠であるため、今後も同数・同規模で維持・更新すべきである。
2	現状の公共施設では不足しており、他の施策より優先して公共施設を拡充すべきである。
3	生活インフラ(道路・橋・下水道など)を最優先に整備し、残りの財源で他の公共施設を維持・更新すべきである。(他の公共施設量は必然的に減らすことになる。)
4	人口・財政・市民ニーズ等に見合う量まで、公共施設を減らすべきである。
5	その他 ( )

問5



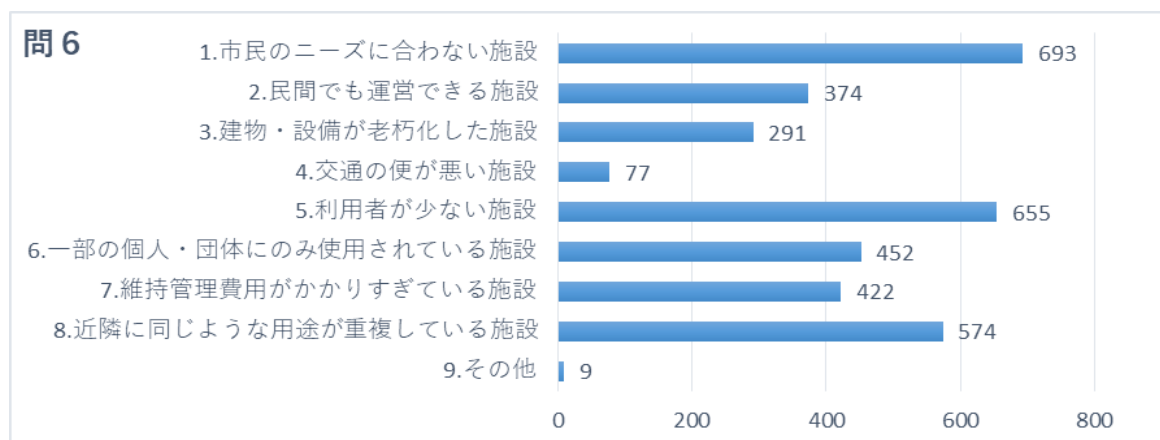
【「5 その他」の回答(主なもの)】

- 公共施設の規模を縮小して数を維持する。
- 公共施設の利用料の増額を検討する。
- 公共施設の統廃合と同時に小回りの利く交通インフラを整備する。
- 災害への備えとして避難施設を確保する。
- 将来を見据え、若者・子育て世代に関係する施設を充実させる。
- 教育は未来への投資であり、小中学校は他の公共施設とは別に考えるべき。

問6

【問5】で「3」または「4」とお答えになった方は、どのような施設を減らすべきとお考えですか。（施設規模の縮小を含みます。）当てはまるものに○をつけてください。（最大3つ）

1	市民のニーズに合わない施設	2	民間でも運営できる施設
3	建物・設備が老朽化した施設	4	交通の便が悪い施設
5	利用者が少ない施設	6	一部の個人・団体にのみ使用されている施設
7	維持管理費用がかかりすぎている施設	8	近隣に同じような用途が重複している施設
9	その他（ ）		



【「9 その他」の回答（主なもの）】

- ・施設機能や業務内容が兼用できるものを統合する。
- ・異なる用途の施設の機能を統合し、総量を減らす。

【問5・問6】

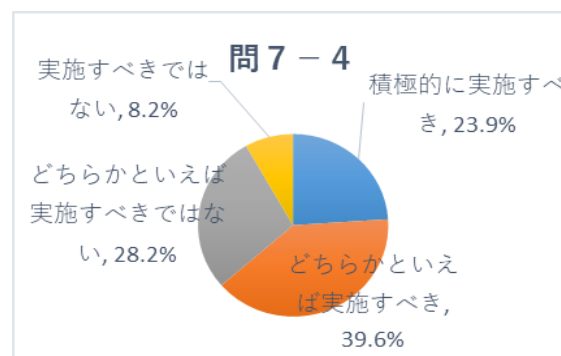
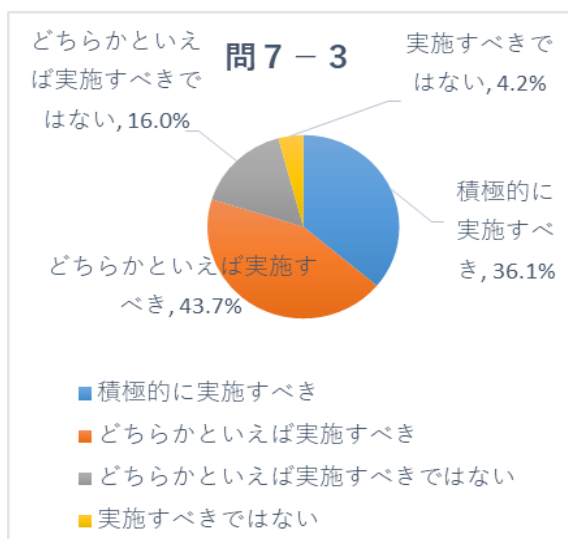
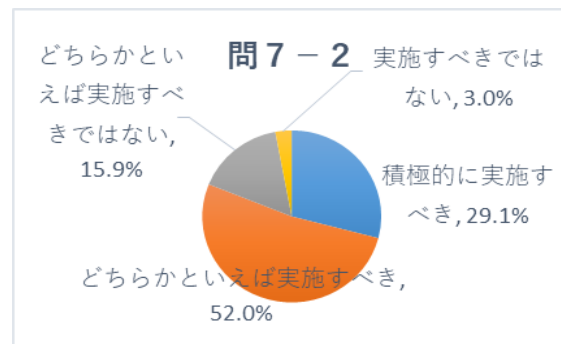
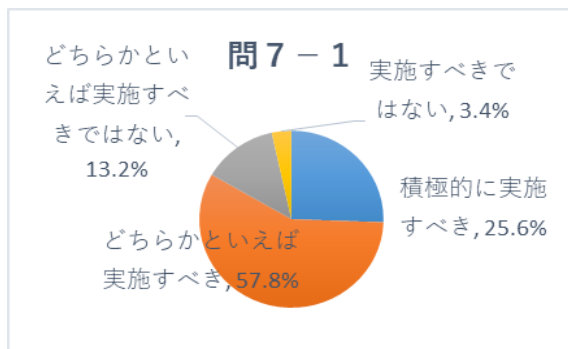
- ・「人口・財政・市民ニーズ等に見合う量まで、公共施設を減らすべき」や「生活インフラ(道路・橋・下水道など)を最優先に整備すべき」といった回答が多い結果となりました。
- ・減らすべき施設としては、「市民のニーズに合わない施設」、「利用者が少ない施設」、「近隣に同じような用途が重複している施設」が多く、市民ニーズに合致し、稼働率の高い施設が求められている傾向にあることが分かりました。



※問7～問13の質問は、小中学校施設の利用者としての立場からお答えください。

問7 限られた財源の中で、学校施設を維持・更新するためには、様々な対応策が必要となります。表の中の対応策について、あなたの考え方に近いものをそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

以下の対応策について、それぞれ右欄の1～4の中から1つ選んで○をつけてください。		積極的に実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない
1	施設の長寿命化工事により、更新費用を抑える。	1	2	3	4
2	施設の建替え時に、必要最小限面積にして、更新費用を抑える。	1	2	3	4
3	より良い学習環境を確保する観点から、適正規模を維持するための学校統合や、近隣小中学校を統合した小中一貫校の新設等を進めることで、1校当たりの財源投資額を高め、施設整備を促進する。	1	2	3	4
4	近隣校での複数校利用、民間施設の利用等により学校プールの全体数を減らして、更新費用を抑える。	1	2	3	4



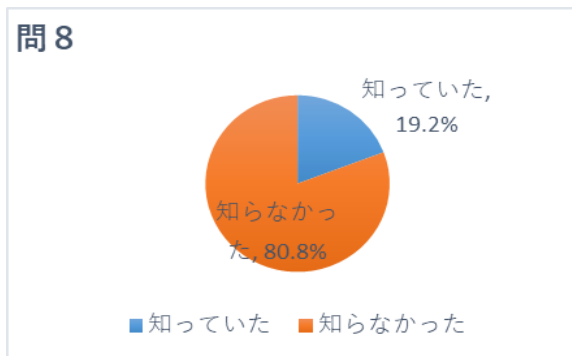
・学校施設を維持・更新するための様々な対応策について、いずれも「積極的に実施すべき」と「どちらかといえば実施すべき」の合計が、過半を大きく上回り、何らかの対応策が求める意見が多い結果となりました。

問8

市では人口減少の進行や厳しい財政状況を踏まえ、施設を複合化することによって、必要なサービスを提供できる施設の量を確保した上で、総量（総延床面積）の縮減を目指していますが、このような取組をご存じでしたか。

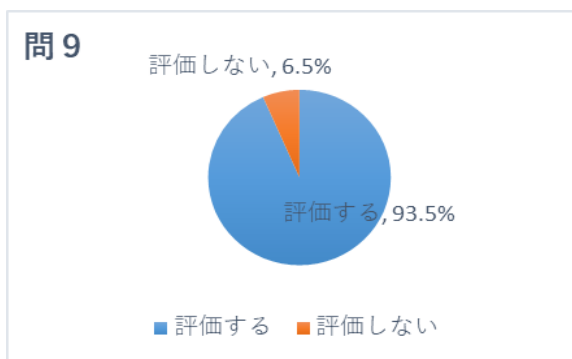
例：岬小学校複合施設（体育館+ふれあいセンター+学童保育施設） 令和3年度完成予定

1	知っていた	2	知らなかった
---	-------	---	--------



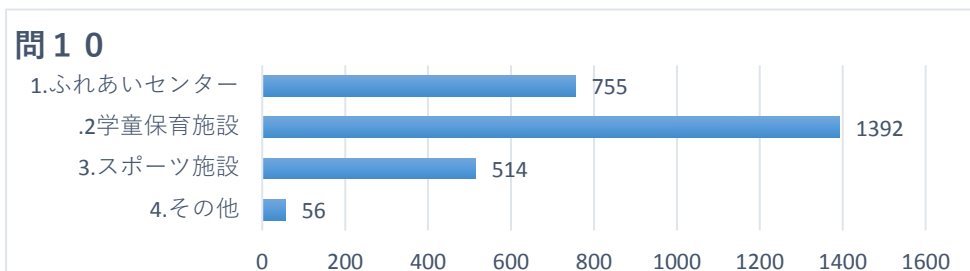
問9 【問8】の取組について、お尋ねします。あなたは、この取組を評価しますか。

1	評価する	⇒問10へ	2	評価しない	⇒問11へ
---	------	-------	---	-------	-------



問10 【問9】で「1」とお答えになった方は、学校施設と複合化すべき公共施設として、何がふさわしいとお考えですか。当てはまるもの全てに○をつけてください。

1	ふれあいセンター	2	学童保育施設
3	スポーツ施設	4	その他（ ）



【「4 その他」の回答（主なもの）】

- ・ 保育園 ・ 幼稚園 ・ 消防機庫 ・ 文化施設 ・ 学習室 ・ 公園 ・ 高齢者福祉施設 ・ 障害者施設
- ・ 子育て支援関係施設 ・ 子ども食堂 ・ 病院 ・ 郵便局 ・ 銀行 ・ 交番

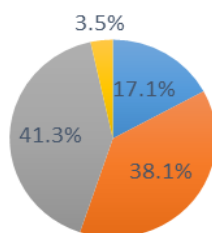
【問8～問10】

- ・施設の複合化による総量（総延床面積）の縮減についての認知度は2割弱でしたが、この取組を評価する回答は9割以上の高い結果となりました。学校施設との複合化対象としては学童保育施設が最も多く、続いてふれあいセンターの順となりました。
- ・「その他」としては図書館、保育・幼稚園、市民センター、文化施設、高齢者福祉施設、子育て支援関係施設などの回答がありました。

問11 小中学校の多くのプールは昭和30年～40年代前半に建設され、築50年を経過したプールが約7割を占めています。今後、市の保有する小中学校プールを全て維持・更新することは財政的に困難となる可能性があります。小中学校プールのあり方として、あなたの考え方に最も近いものは次のうちどれですか。

1	小中学校のプールは必要不可欠であるため、今後も同数・同規模で維持・更新するべきである。 (必然的に学校のその他の施設の整備量は減少する。)
2	老朽化したプールでも使用できるうちは現状のまま維持し、老朽化により維持管理が困難になった時点で、近隣校での複数校利用、民間プール利用等により学校プールを減らすべきである。 (プール更新に必要な財源を活用して、その他の学校施設を整備する。)
3	プールについては利用期間が限られているため、今後は近隣校での複数校利用、民間プール利用等により学校プールを減らしていき、その他の学校施設の整備を優先的に図るべきである。
4	その他 ( )

問11



- 1.小中学校のプールは必要不可欠であるため、今後も同数・同規模で維持・更新すべきである。
- 2.老朽化したプールでも使用できるうちは現状のまま維持し、老朽化により維持管理が困難になった時点で、近隣校での複数校利用、民間プール利用等により学校プールを減らすべきである。
- 3.プールについては利用期間が限られているため、今後は近隣校での複数校利用、民間プール利用等により学校プールを減らしていき、その他の学校施設の整備を優先的に図るべきである。
- 4.その他

【「4 その他」の回答（主なもの）】

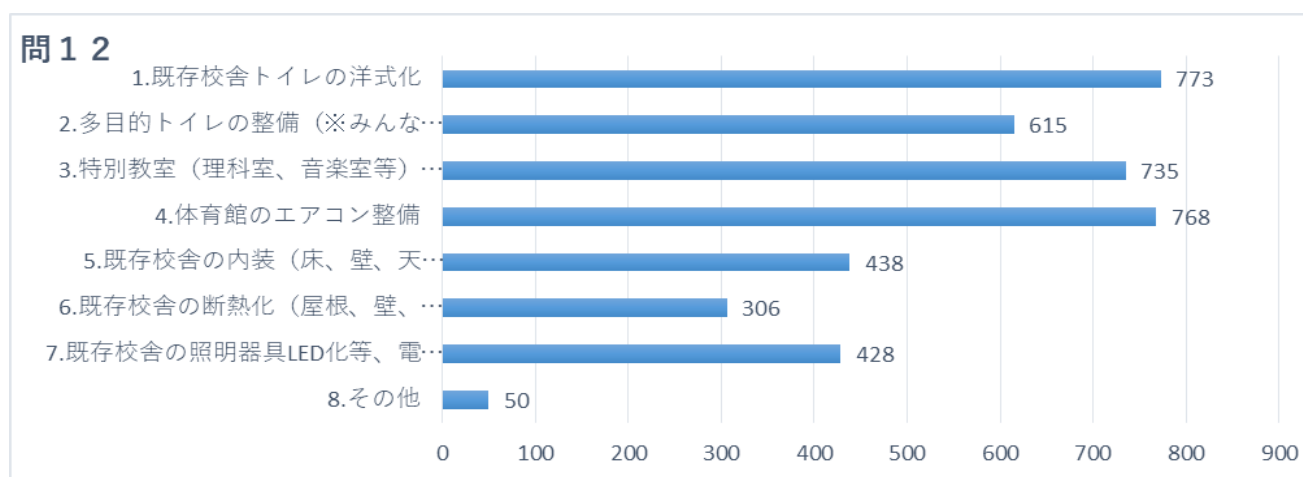
- ・水泳授業は必要ない。 ・水泳授業は小学校のみとする。
- ・水泳授業は民間プールに委託し、専門の指導者によるものとする。
- ・学校プールは無くても市民プールは必要。
- ・民間や新たな屋内市民プールで水泳授業を行う。移動手段は確保する。
- ・学校プールを廃止した場合、防火用水としての機能は確保する。

・選択肢2や3の「近隣校での複数校利用、民間プール利用等により学校プールを減らす」、が合計して8割弱で、「その他の学校施設整備優先」を望む回答が多くありました。

既存学校施設整備において、今後、限られた財源の中で、何を優先すべきとお考えですか。耐震化、外  
 問12 壁改修（コンクリート落下防止等安全対策）、屋根防水改修（雨漏り防止）以外で当てはまるものに○  
 をつけてください。（最大3つ）

1	既存校舎トイレの洋式化	2	多目的トイレの整備（※みんなのトイレ）
3	特別教室（理科室、音楽室等）のエアコン整備	4	体育館のエアコン整備
5	既存校舎の内装（床、壁、天井）の更新	6	既存校舎の断熱化（屋根、壁、開口部）
7	既存校舎の照明器具LED化等、電気設備の更新		
8	その他（ ）		

※みんなのトイレ…障がい者や高齢者はもとより、性別等によらず、LGBTをはじめとする性的少数者にも配慮をした、だれもが利用できるトイレ



【「8 その他」の回答（主なもの）】

- ・防犯設備 ・遊具等の充実、更新 ・校庭トイレの整備 ・バリアフリー化
- ・コロナで換気するため、網戸の取付 ・災害時の避難所として施設整備

・既存校舎トイレの洋式化や特別教室・体育館のエアコン整備を求める回答が多い結果となりました。それに続いて多目的トイレの整備という回答が多くありました。

問13 その他、学校施設のあり方について、自由なご意見をお聞かせください。

【問13 の回答（主なもの）】回答内容分類別50音順  
 様々なご意見をいただきありがとうございました。今後の学校施設整備等の参考にさせていただきます。

〔IT化、ICT教育〕

- ・IT、ICTをもっと教育に活用してほしい。
- ・ICT教育への移行に伴うコンピューター及びネットワークを使いこなす必須技能者の育成。

〔安心安全〕

- ・限られた財源で優先させるべきは「安全」の観点か第一。
- ・安心安全に通える施設、長い時間を学校で過ごすことになるので児童、生徒にとっても過ごしやすい良好な環境であり、先生方にとっても働きやすい環境であってほしい。

- 学校の防犯対策をさらに強化してほしい（防犯カメラ設置や侵入しにくくするなど）

#### 〔エアコン〕

- 体育館や特別教室のエアコンについての設置も今後必要となってくるのではないかな。
- 体育館のエアコン整備は避難所としての利用時にも役立つ。
- エアコンは不要。（扇風機等で対応できないか。子どもが汗をかいた後にあたると寒いと言う。）

#### 〔学習環境・教育環境〕

- 学校によって格差がないように整備してほしい。
- 学習・学問は様々な方法でできるので柔軟、斬新な考えで取り組めるといい。
- 新しい教育のやり方などで学校職員の働き方改革が気になる。教師のストレス対策などを十分に。

#### 〔学童保育〕

- 今は父母共働きの家庭も多く、学校内もしくはその近くでの学童保育がないと厳しい。少し遠い通勤であれば学童保育の時間が間に合わない。もっと定数を増やせば助かる家庭も多いと思う。
- 学童保育は学校内に作るべきではない。学童保育施設を充実させるべき。空き教室が学童に利用されると学校教育に支障があると思う。

#### 〔公共施設マネジメント全般〕

- 将来人口推計の減少を抑制する観点から、必要となる公共施設としての基盤に優先順位を設定すべき。
- 小中学校施設は、市内定住・域内定住に必要な公共施設であり、機能統合を前提とするマネジメントの進め方の対象施設からは切り離して考えるべき。

#### 〔校区割り〕

- 児童・生徒の通学区を見直し、規模の適正化を図る必要があるのではないかな。

#### 〔コミュニティスクール〕

- コミスクの推進により、地域の高齢の方々が来られることもあるので大いに賛成。
- 一般住民にとって学校は、敷居が高く気軽な訪問にはつながらないので、一般住民が気軽に訪問できるような施設が望まれる。

#### 〔財政〕

- 子どもの教育に対する費用を削減することはあってはならない。
- 10年後、20年後…100年後の試算をしっかりと頂きたい。

#### 〔施設開放〕

- 地域住民との交流・理解を深めるためにも地域住民が利用可能な学校施設であることが望ましい。
- 地域住民が小中学校の体育館以外に他の教室（音楽室や調理室等）も気軽に利用できるように。
- 体育館、グラウンドをもっと簡単に使用できるように。
- 一般への施設（体育館等）利用料の徴収。
- もっと積極的に地元に貸出し、有効活用を図る。

#### 〔施設整備全般〕

- 他市の例では、生徒数が減少傾向の学校の建替えて、将来老人ホームとして利用できるよう工夫されている。現状をカバーしつつ、将来にも有効に活用できる取組みがなされると良い。
- 学校は教育の場以外に、防災拠点、選挙の投票所、地域のレクリエーションの場としてさまざまな用途がある。地域特性を把握し（ニーズ調整）それに合わせて改修、更新をしていくべき。
- 学校を中心に、生徒・住民が集い、コミュニティ活動ができる施設を目指す。
- 教育環境の整備は、未来をになう子どもたちへの先行投資。できる限り児童・生徒の利になるように整備されることを望む。
- 兼用できる教室を考慮し、建物数を最小限にした財源に見合った整備をする。
- 弱者にも優しい施設に。
- 教育施設整備にあたっては、関係者（学校、保護者、地区代表者等）と充分協議して欲しい。
- 職員室を一部、オープンスペースにするなど、教職員も児童生徒にとってもストレスのない空間があればよいと思う。
- 体育館は、避難所などの防災施設になるので、整備・改修を優先すべき。

#### 〔小中一貫校・学校統合〕

- 1学年に1クラスしかない学校は近隣校で統合して欲しい。
- 学校を統合し、スクールバス制にすれば校区を広く取ることができ、設備面で大幅に効率化が可能。登下校時の「交通事故」「変質者」「大人の目が届かない所で起こるいじめや非行行為」全てを防げる。

- ・学校統合は宇部市全体での議論が必要。財政的削減額を試算し公表すれば大多数の市民は納得すると思う。
- ・宇部市の小中学校を全て一貫校へ早急に進め、改修工事にかかる費用がかさまないようにしてほしい。
- ・近隣小中学校の統合により、通学が困難になる児童・生徒が出ないように配慮してほしい。
- ・財政状態が悪いから学校や施設の統合や縮小を検討することは間違っていると思う。
- ・積極的に学校統廃合を進め、各学校の児童・生徒数を平準化し、どの学校でも同程度の授業・部活動が行えるように。
- ・学校統合により、地域の特色を活かした格差のない対応をお願いしたい。
- ・小中一貫校にすることで校舎を減らすことが可能。複合化することで学校への出入りする人が増えるので安全面も見直しが必要。
- ・少子化が進み、今までの学校では限界がある。宇部市が、全国から見習われるような革新的な運営を行ってほしい。古い考えは捨て（地域の風習など）、強いリーダーシップで統合、多様化、新設など進めていって欲しい。

#### 〔トイレ〕

- ・トイレの改修・洋式化を早急に。
- ・みんなのトイレは小中学校含め公共施設にも優先的に整備してほしい。
- ・既存校舎のトイレを明るく、清潔感のある、掃除しやすいものにしてほしい。
- ・学校の運動場のトイレは洋式トイレがないので困る。
- ・トイレ掃除だけでも専門の業者を入れてほしい。
- ・男子トイレの個室の数を増やしてほしい。

#### 〔バリアフリー化〕

- ・玄関前のスロープが付き、良くなったが、施設全体をあらゆる面からバリアフリーにしてほしい。

#### 〔避難施設〕

- ・学校は災害時などあった時でも建物の耐震性があり、物資など資材も備蓄できる施設に。
- ・学校は災害時の避難所として利用される施設でもある為、トイレ・エアコン整備は重要。
- ・学校は災害時の避難所も兼ねているので、多目的トイレ等必要なものは早急に取組んでほしい。
- ・学校は災害時の避難所なので、市民センター、ふれあいセンターと複合化すると、災害時に役所との連携がとりやすく災害に強い市になると思う。

#### 〔プール〕

- ・令和2年度はコロナで授業が無かったが、あまり必要性を感じていない。
- ・近隣校での複数校利用は生徒の移動手段や掃除、管理責任の点が気になる。安全配慮を第一に取組を。
- ・プールの施設開放を有料化してすすめ、地域の健康維持の為に活用していく
- ・プールは夏の子どもにとって楽しみの1つ。学校プールだけは維持してほしい。
- ・学校プールを減らし、民間プール等を利用する際、授業回数が減っても、授業の質の向上の検討を。着衣状態での泳ぎ方、おぼれて救助を待つ間の「浮いて待つ」の実践など。
- ・6月から7月の多雨、高温時期にプール授業を入れても近年は中止となることが多く、わずか数回の水泳授業では子どもたちの泳力アップにはつなげていないと思う。
- ・水泳授業は、安全管理の面で教員への負担が大きい。

#### 〔複合化〕

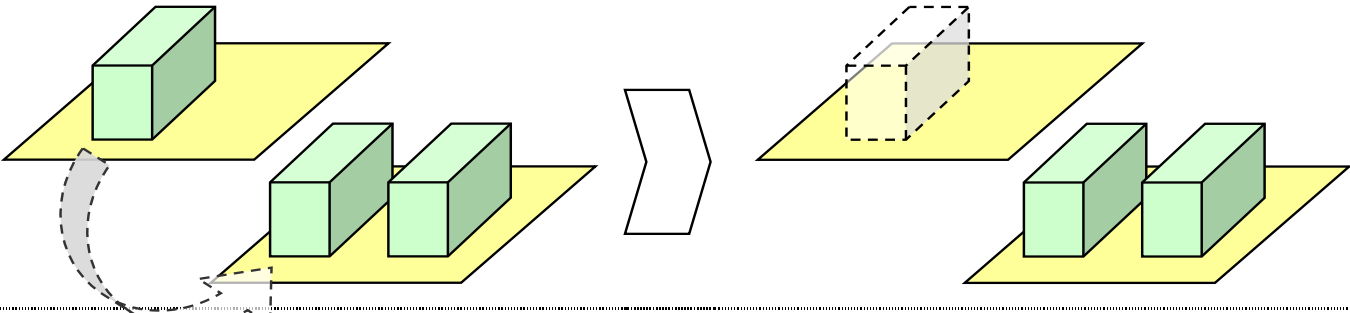
- ・学童保育施設との複合化により、お迎えまでの待機時間や長期休みを利用し、学習塾や書道、英語、そろばん等、習い事を学べるような場を作る事ができれば時間の有効活用になる。
- ・不審者や歩車分離、駐車場等の対策を強化すべき。
- ・行事や会議など多世代交流に期待。
- ・多世代交流が出来るように高齢者のデイサービス施設なども検討を。
- ・子どもたちが地域の方との関わりを深め、年長者から学べる施設に。

#### 〔余裕教室の活用〕

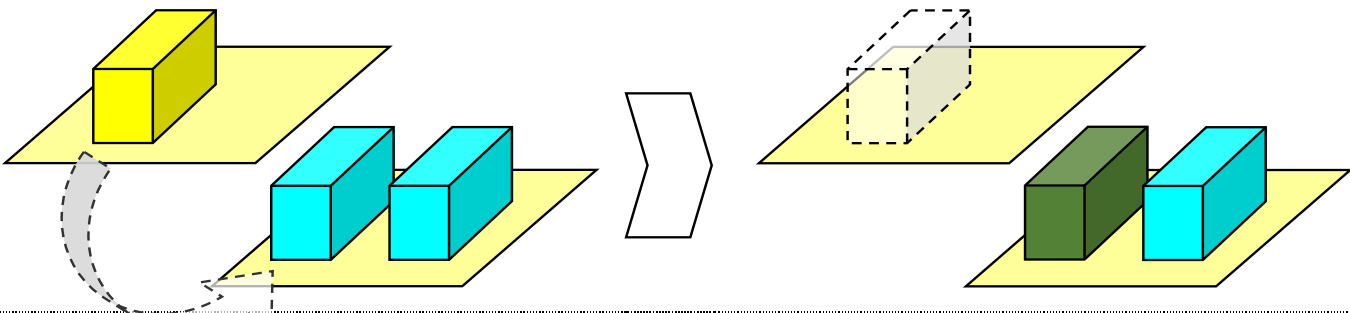
- ・地域交流の場として活用、地域行事を学校内で開催。
- ・子どもが好きな習い事教室を開く。
- ・市、地区等で有効に活用。
- ・余裕教室や図書館の活用を。

施設の統合・複合化などのイメージ図

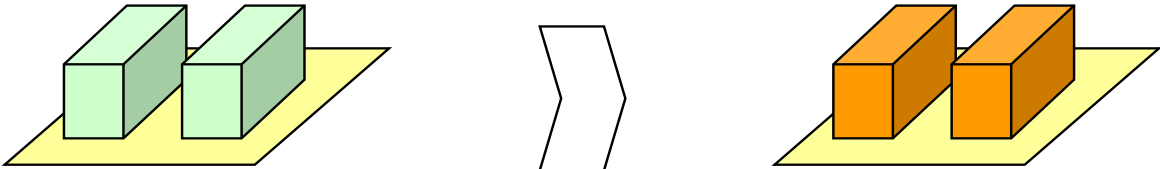
統合（同じ機能の施設を一つにまとめる）



複合化（違う機能の施設をひとつにまとめる）



転用（今までと違う使い方をする）



多機能化（いろいろな機能を持たせる）

